

1 当該国への開発協力のねらい

（1）チリは、我が国と価値と原則を共有する重要な「戦略的パートナー」であり、幅広い分野において緊密に協力していくことが確認されている。2007年には我が国との経済連携協定（EPA）が発効し、2023年にはチリについて環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（CPTPP）が発効するなど貿易環境が更に整備され、銅、リチウムを始めとする豊富な鉱物資源や水産資源を有するチリは、我が国への資源供給国としての重要性がますます高まっている。

（2）チリは、2018年にOECD/DAC援助受取国・地域リストから卒業したが、依然として自然災害多発国に特有の脆弱性や、2019年に発生した大規模な社会騒擾で顕在化したように社会的不平等・格差の課題が残っている。さらに、少雨による慢性的な渇水や、森林火災や洪水といった災害の頻発化等、気候変動に起因する課題も抱えている。

（3）これらの課題に対し、チリは、2030アジェンダ実行戦略を策定し、全ての人々が持続可能な開発の恩恵を平等に享受できる社会制度の整備等を推進している。また、国家防災対策庁の創設や災害リスク軽減のための国家戦略の制定等により、災害対応能力の更なる強化を図るとともに、2050年までのネット・ゼロ実現を目標として定め、各取組を進めている。

（4）上記のような課題の解決に向け、チリが進める取組を支援するため、二国間開発協力及び三角協力を継続することは、資源や食料の安定供給等による我が国との関係強化や、中南米地域の安定と経済の発展や、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献することが期待され、外交的・経済的意義を有する。

2 我が国のODA基本方針（大目標）：質の高い持続可能かつ包摂的な成長への貢献

チリは、地震・津波等の自然災害や気候変動に係る課題に加え、高齢化やジェンダー平等を含む社会的不平等・格差の課題を有しており、その公共政策の立案・実施や人材育成の強化が求められている。これらの地球規模の課題を解決し、新たな時代の質の高い成長に貢献するため、社会的包摂性を持つ持続可能かつ強靱な社会の実現に重点を置き、科学技術分野等の我が国の強みを活かした協力を進めるとともに、我が国とチリが強みを有する分野で三角協力を更に推進する。

3 重点分野（中目標）

（1）社会的包摂性を持つ持続可能かつ強靱な社会の実現

チリは、自然災害に対する新たな防災対策を確実に進めているが、これまでの地震・津波に加え、気候変動により頻発化している森林火災や洪水等を含めた災害のリスク軽減や、女性や高齢者を含めた多様な市民が主体となる防災・減災計画等、我が国の

技術や知見を導入した強靱性のある防災減災対策を推進することで、「仙台防災枠組 2015-2030」の達成に貢献する。

また、チリが経済成長する中で、社会的不平等・格差を是正するためには、高齢者や障害者、女性及び子ども等の脆弱層の社会参加を促進し、包摂性の高い公共政策の拡充が必要である。このような中、健康長寿国を目指す我が国が有する福祉分野の知見と経験を基に、社会的包摂性の推進のための公共政策の立案及び実施に貢献する。

さらに、チリでは、急激な経済発展に伴う環境問題を抱えており、我が国が優位性をもつ環境技術を移転するとともに、温室効果ガス排出量削減に向けた低炭素技術等の普及等、気候変動リスクを軽減する緩和策や適応策に関する協力をを行い、「パリ協定」の推進に貢献する。

(2) 三角協力の更なる推進

1999年に我が国とチリが署名した三角協力に係るパートナーシップ・プログラム（JCPP: Japan-Chile Partnership Programme）は、チリが第三国に対して行う開発協力の実施能力強化に重要な役割を果たしており、2018年には同プログラムを更新した JCPP2030 に署名した。KIZUNA プロジェクトをはじめ 20 年以上にわたるチリとの三角協力の成果は、中南米各国からも高く評価されている。

このような長きにわたる三角協力の実績を踏まえ、防災協力をはじめ両国が強みを有する分野において三角協力を更に推進する。その際、国際情勢の目まぐるしい変化や気候変動等の喫緊の国際的な課題への対応、質の高いインフラを活かした防災・強靱化技術やインフラ制度並びに運営管理、持続的で安定した社会経済システム構築のため、中長期的な戦略計画の設定、柔軟かつ迅速な支援の実現等を考慮した新たな仕組みを導入することにより、効率的、効果的かつ戦略的な三角協力を展開する。

4. 留意事項

チリの中南米地域における政治経済の安定とプレゼンスの優位性を活かしつつ、各技術協力や草の根・人間の安全保障無償資金協力との連携や、産官学連携の推進、民間セクターや国際機関等も視野に入れた様々な主体間の連携強化を図る。さらに、これまでの開発協力実績をチリとともに大切に遺していく体制を整備するとともに、これからの協力が他の ODA 卒業国における今後の協力のあり方を示す「共創」のモデルケースとなるよう取り組むことに留意する。

(了)

別紙： 事業展開計画

対チリ共和国 事業展開計画（案）

2024年 9月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>質の高い持続可能かつ包摂的な成長への貢献</p>											
<p>重点分野 1 (中目標)</p>	<p>社会的包摂性を持つ持続可能かつ強靱な社会の実現</p>											
<p>開発課題 1-1 (小目標) 防災対策</p>	<p>【現状と課題】 自然災害多発国であるチリでは、2021年の新防災法の制定により2023年1月に創設された国家防災対策庁は、緊急対応のみならず、国の災害管理・計画策定の実施・監督、及び早期警報システムの更新、並びに全国346ある自治体を対象とした地域防災計画の整備等も行うことになった。このような状況の下、気候変動リスクに起因する多種多様な自然災害の軽減や被害の最小化に向けた人材育成、研究の拡充、包括的な防災体制の構築が引き続き課題となっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 我が国とチリは地理的条件や発生する自然災害が類似しており、これまでの災害経験の教訓を踏まえた災害リスク軽減に焦点を置いた人材の育成・能力向上を行うとともに、DX等を通じた防災体制強化を図り、持続的な発展と強靱な社会構築に貢献する。</p>						
	<p>協力プログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>防災対策支援プログラム</p>	<p>中南米カリブ地域における災害に強靱な社会で持続可能な社会の構築プロジェクト(KIZUNA II)</p>	<p>技プロ</p>	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度		11, 13, 17	三角協力推進プログラムにも記載
		<p>安全性と経済性のある橋梁防災マネージメントシステム強化</p>	<p>個別専門家</p>								11,13	
		<p>中南米災害医療マネージメント</p>	<p>国別研修</p>								3, 13	
		<p>防災対策分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>								11	
		<p>防災対策分野のJICA海外協力隊</p>	<p>JOCV</p>								11	
		<p>道路アセットマネジメント技術の中核人材育成</p>	<p>課題別研修他</p>								11	
		<p>SDGsグローバルリーダー</p>	<p>課題別研修他</p>								1~17	
<p>防災分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力</p>		<p>草の根無償</p>							0.29	11		
<p>開発課題 1-2 (小目標) 社会包摂性の推進</p>	<p>【現状と課題】 チリは中南米地域の中でも高い経済成長を遂げたが、同時に不平等な格差社会が広がった。2022年3月に発足した現政権は格差是正を最優先課題として様々な政策を打ち出し、年金制度や国民健康保険の改革、国家介護システム構築等を推進しているが、特に、高齢者等の社会経済的弱者に対する社会保障制度の整備をはじめとした包括的な支援が喫緊の課題となっている。</p>					<p>【開発課題への対応方針】 高齢者対策に係る日本の知見や経験を共有し、特に地域に根差した地方行政能力向上、DX等の促進を通じた各種サービスの質とアクセスの改善等に資する人的資源の強化に貢献する。また、障害者やジェンダー、子供にも配慮した取組を支援する。</p>						
	<p>協力プログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>高齢化社会プログラム</p>	<p>高齢者ケアのための地域モデル形成支援: ケアするコミュニティプロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度		3	
		<p>高齢化社会分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>								3	
		<p>高齢化社会分野のJICA海外協力隊</p>	<p>JOCV</p>								3	
	<p>社会的格差是正プログラム</p>	<p>社会的格差是正分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>								10	
		<p>社会的格差是正分野のJICA海外協力隊</p>	<p>JOCV</p>								10	
<p>社会的格差是正分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力</p>		<p>草の根無償</p>							0.22	3,10		

